

授業 科目名	【G】	日本史概論	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	日本史概論			【H】1		【H】2	
	【I】	日本史概論	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	専門科目：【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目（中社・地歴・－・－）							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための（中社必修・地歴必修・－・－）科目 【H】 教員の免許状取得のための（中社必修・地歴必修・－・－）科目 【I】 教員の免許状取得のための（中社必修・地歴必修・－・－）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項：「日本史・外国史」（中一種免社会）、 「日本史」（高一種免地歴）							
サブ タイトル	基礎から学ぶ日本の歴史・文化			担当者	池田 卓也			
授業概要	【概 要】	本授業は、地域社会・国際社会の中での活躍や教職の前提となる日本の歴史や文化について、前近代を中心に通時的にみていく授業です。授業では、各時代の概要について踏まえたうえで、現代の私たちの社会・生活とのつながりや周辺地域の歴史を意識しながら、関連するテーマ・用語や史料を取り上げて解説します。なお、履修者の学修状況により、授業計画等を変更する場合があります。あらかじめご承知置きください。						
	【到達 目標】	1. 日本の歴史や文化に関する基礎的な知識を修得し、その概要を説明できる。 2. 日本の歴史や文化に関する基本用語を理解し、的確に使用できる。 3. 過去という「異文化」体験を通じて、異なる意見や価値観に対する寛容さを身につけ、他者を尊重・理解できる。						
履修条件	特にありません。							
アクティ ブラー ニング の方法	【○】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロ マ・ポ リシー との 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－（当てはまらない）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－（当てはまらない）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	○（やや当てはまる）						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎（よく当てはまる）						
他科目との 関	必須ではありませんが、「歴史学概論」を履修していることが望ましく、また本科目の履修後に「日本法制史Ⅰ」・「日本法制史Ⅱ」・「専門講義（日本政治外交史）」（Gカリキュラムでは「特殊講義（日本政治外交史）」）を履修すると、さらに理解が深まります。							
教科書	特に指定しません。必要に応じて資料を配付します（Google Classroomを利用）。							
参考書	・佐藤 信・五味文彦・高埜利彦・鈴木 淳ほか『高校日本史』〈文部科学省検定済教科書；日探706〉（山川出版社、2023年）定価914円 ISBN 978-4-634-70122-9 ・橋場 弦・桜井英治ほか『中学歴史：日本と世界 改訂版』〈文部科学省検定済教科書；歴史081-72〉（山川出版社、2025年）定価858円 ISBN 978-4-634-70905-8 その他、必要に応じて紹介します。							
評価方法	「授業実時数の3分の2以上の出席者」を評価対象として、以下の方法で評価します。 ・授業内試験 50% ※履修者数次第では定期試験に変更して実施します。 ・平常点（課題等を含む）50% ※responを適宜利用します。							
フィード バック 方法	講義内容については適宜質問を受け付け、課題については授業時に講評を行って、学修内容の深化を促します。							
評価基準	積極的な授業への参加・節度ある授業態度を基本に、以下の評価基準で評価します。 S: 授業内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている A: 授業内容を概ね理解し、優秀な成績をおさめている B: 授業内容を部分的に理解している C: 授業内容を最低限理解している D: 授業内容をほとんど理解していない E: 授業内容を理解していない F: 「授業実時数の3分の2未満の出席者」である、未提出の課題が多い、授業内試験を欠席する、などの理由により評価不能である							

授 業 科目名	【G】	日本史概論	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	日本史概論			【H】1		【H】2
	【I】	日本史概論	その他参照		【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	オリエンテーション／日本史の前提知識 予習： 日本史に関わる既習内容を列挙する。(2時間) 復習： 日本史の前提知識について整理する。(2時間)						
2	日本文化のあけぼの 予習： 旧石器時代～古墳時代について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 各時代の文化の特色と東アジア世界との関わりについて整理						
3	律令国家の形成と展開 予習： 飛鳥時代～平安時代初期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 律令国家の形成と展開について整理する。(2時間)						
4	宮廷貴族社会の成立 予習： 平安時代中期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 貴族政治の展開について整理する。(2時間)						
5	特別授業①：宮廷装束の世界 予習： 平安貴族の服装について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 狩衣ほかの有職装束について整理する。(2時間)						
6	中世社会の成立 予習： 平安時代後期～鎌倉時代について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 院政・平氏政権・鎌倉幕府の展開について整理する。(2時間)						
7	中世社会の展開 予習： 南北朝時代～戦国時代について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 南北朝の動乱から戦国大名の登場に至る過程について整理する。(2時間)						
8	近世の幕開け 予習： 安土桃山時代について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 織豊政権の形成と展開について整理する。(2時間)						
9	特別授業②：茶の湯の世界 予習： 室町文化・桃山文化について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 茶の湯について「三要素」を中心に整理する。(2時間)						
10	幕藩体制の成立と展開 予習： 江戸時代前期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 幕藩体制の成立と展開について整理する。(2時間)						
11	幕藩体制の動揺 予習： 江戸時代後期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 「三大改革」と幕藩体制の動揺過程について整理する。(2時間)						
12	近世から近代へ 予習： 幕末維新时期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 開国から明治新政府の発足に至る過程について整理する。(2時間)						
13	近代国家の成立 予習： 明治時代前期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 大日本帝国憲法の発布に至る過程について整理する。(2時間)						
14	近代国家の展開と崩壊 予習： 明治時代後期～昭和戦前期について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 近代国家の展開から崩壊に至る過程について整理する。(2時間)						
15	授業内試験／まとめ ※履修者数次第では、別途、定期試験を実施します。 予習： 第1回～第14回の授業内容について総復習する。(2時間) 復習： 授業内試験を通じて理解が不十分だとわかった内容について						
その他	歴史を知ることは「現在を知ること」でもあります。現代の私たちの社会・生活・価値観との共通点や違いを意識しながら受講し、日本の歴史・文化について、さらには私たち自身について理解を深めてください。そして、ご自身の未来に向けてのヒントを見つけてください。 ※G・H・I：【選択必修（ウ）】						